

(様式)

平成31年度 学習指導方針 (スクールポリシー)

石川県立金沢商業高等学校

【教育目標】

校訓「自主」「誇り」「思いやり」を指針とし、

- (1) 豊かな人間性と健康・体力を備える生徒
- (2) 生涯にわたって意欲的に学び続ける生徒
- (3) 仕事に対して高い意欲を持ち社会に貢献する生徒を育成し「人づくりの金商」を目指す。

【自校の現状・課題】

- ① 3年間を通じた計画的なキャリア教育の充実により、進路実現が概ね達成されている。
- ② 職員一丸となつてのマナー指導により、挨拶等に成果が上がってきている。
- ③ 商業科の主導により、生徒の資格取得の成果が上がってきている。
- ④ 金商デパートをはじめとする、地域と連携した実践的・体験的な教育活動が充実してきている。
- ⑤ 英語科、商業科で実施の習熟度別学習、少人数学習において、その内容の充実と成果が求められている。
- ⑥ 部活動の振興は生徒の健全育成、本校の活性化に不可欠と捉え努力している。

【地域等からの要望】

創立以来石川の商業教育の中心校として、地域や同窓会からの期待と手厚い応援をいただいております。卒業生は地元の企業からも高い評価を得ています。今後も地元石川の経済を担う人材の育成が求められています。

【本校において目指す生徒像】 (育む資質・能力、身に付けたい力など含む)

社会の即戦力として活躍できる人材の育成を目指し、挨拶等基本的な生活習慣とマナーの定着を図るとともに、「英語」「情報」「会計」「マーケティング」「観光」の5つの分野を中心として実践的な力を身につける。特に、地域の魅力をグローバルに発信できるよう、外国語でのコミュニケーションスキルを持った人材を育成する。

【学習指導方針 (スクールポリシー)】

(1) マーケティング、ビジネス経済、会計、ビジネス情報等実践力の強化を図る。

- ・ 商業の基礎と資格取得の推進 (1年)
- ・ 基礎的なビジネススキルと、商品開発等を通して企画力を身につける (2, 3年)
- ・ 日商簿記、ITパスポート、基本情報、BATIC等、積極的に高度な資格取得を勧める。(2, 3年)

(2) 語学を中心としたコミュニケーションスキルを高める。

- ・ 言語活動をより積極的に取り入れ、英語を聞くこと、話すことの機会を増やす。
- ・ イングリッシュビレッジやALTとの会話を通し、グローバルな視点を育成する。
- ・ 海外語学研修やシンガポールとの交流を通し、実践的な英会話力を身につける。
- ・ TOEIC等実践的な英語検定の受験を積極的に勧める。

(3) 表現する力・伝える力を育成する。

- ・ 論理的、科学的な文章に慣れ、根拠に基づいて文章をまとめる力を育成する。
- ・ 国語のみに偏重することなく、教科・学年を横断し、表現する機会・伝える機会を増やす。
- ・ コンクール等に積極的に参加する等、あらゆる機会をとらえて表現する力・伝える力を高める。

(4) 広義の観光分野に必要な、企画力やホスピタリティマインドを醸成する。

- ・ 観光ガイド等を通し、地域の魅力を発信するとともに、ホスピタリティマインドを育成する。
- ・ 国内バスツアーや海外旅行商品開発等の活動を通し、企画力を育成する。
- ・ 「国内旅行業務取扱管理者」「総合旅行業務取扱管理者」等、高度な資格の取得を目指す。